



い がく しん わ  
医学神話

medical myth : Fact or Fiction?  
Common epithelial 無き後の上皮性腫瘍を示す表題

名誉院長 西 田 敬

性腺原発の腫瘍<sup>せいそう</sup>で精巣<sup>せいそう</sup>に由来する上皮性腫瘍は存在しない。然るに、卵巣<sup>らんそう</sup>では原発腫瘍<sup>げんぱつ</sup>の80%が上皮性腫瘍に分類される。前世期、WHO(1973)の知恵袋が上皮性腫瘍群を強引にでも捏造<sup>ねつぞう</sup>し、common epithelial tumorsの名<sup>かん</sup>を冠した。

坪内逍遙<sup>つぼうちしょうよう</sup>などの草分け的な小説を読み返す思いがした。

卵巣腫瘍は嚢腫や嚢胞腺癌など80%は上皮性腫瘍<sup>ところ</sup>から成る。処<sup>ところ</sup>が性腺には

元来、上皮性腫瘍は存在しない。例えば精巣<sup>はいさいぼうしゅよう</sup>、胚細胞腫瘍<sup>せいさくかんしつせい</sup>と性索間質性腫瘍のみ。精細管<sup>せいさいかん</sup>なんて管状の構造があるが、この管状構造も上皮細胞ではなく種々の分化度を示す胚細胞<sup>じょうひ</sup>が羅列<sup>られつ</sup>する。尤も、それを支える sustentacular Sertoli cell支持セルトリ細胞から構成される。蘭学事始め以来、外来語も翻訳には苦勞<sup>つきまと</sup>が付纏う。sustentacularもその一つ。未だ<sup>いま</sup>適当な訳語が見当たらず。

卵巣腫瘍の大部分は表層上皮<sup>ひょうそうじょうひ</sup>から発生し、腺腫～腺癌の形態を示す事が信じられて居た。最近では如何か。神話<sup>くず</sup>は崩れる。Changing caption for the epithelial tumors in the ovary. 大部分はimported diseaseに置き換<sup>か</sup>わった。輸出元<sup>ゆしゅつもと</sup>は卵管をはじめとするmüllerian duct<sup>はせい</sup>の派生臓器。BRCA carrierなど卵巣癌発症<sup>きけんぐん</sup>の危険群に對しては、Angelina Effectが示す通り、予防的卵管・乳腺除去<sup>だとう</sup>が妥当な措置<sup>そち</sup>とされたのも宜<sup>うべ</sup>なる哉<sup>かな</sup>!

